認知症カフェの運営に関する人材育成

認知症カフェコーディネーター研修会

福岡県

地域共生社会に関する取組

高齢者 / 子ども / 若者 / 地域住民 / 障害者 / 生活困窮者 / 認知症の方 / その他

基礎情報		
	人口（R8年4月1日時点）	5,064,365人
	高齢化率（R8年4月1日時点）	約28.3%
	要介護認定率（R8年4月末時点）	約20.4%

福岡県の認知症施策に関する詳細はHPから

https://www.pref.fukuoka.lg.jp/life/3/25/107/

取組概要

- 認知症当事者等の居場所づくりを推進するため、認知症当事者や家族等が集い、情報交換や相談などを行う認知症カフェの運営・支援に携わる関係者を対象とした「認知症カフェコーディネーター研修会」を令和8年1月に開催し、認知症カフェの理念や運営のポイント、実践事例を学ぶ機会を提供した。

背景・きっかけ

- 新型コロナの影響が長期化する中、認知症カフェの中止等により交流機会が減少し、地域社会から孤立し、不安や悩みを一人で抱え込むことで、認知機能の更なる低下が懸念されていた。
- 認知症カフェの多くは、介護サービス事業者やNPO法人などで運営されており、運営スタッフとなるボランティアが確保できない、民生委員や自治会などの協力を得て参加者を増やしたいが、どうしたら良いかわからないといった、将来の継続や運営方法に関する様々な悩みを抱えていることから、認知症カフェが適切に運営されるよう支援を行う必要があった。

取組の経緯

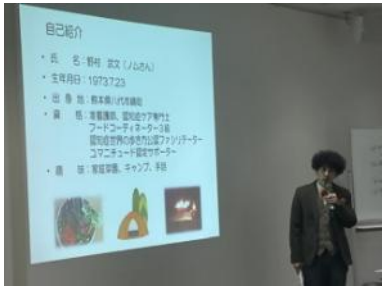
- 上記の課題を解決するため、認知症カフェコーディネーター研修会を企画した。
- 研修会の企画に当たっては、認知症介護研究・研修仙台センターが開催している認知症カフェモデレーター研修（※）の受講者が中心となり、内容を検討した。モデレーター研修で学んだ認知症カフェの理念等を基に、県内の実践や課題を踏まえながら、認知症カフェの意義や役割、運営のポイントを学ぶことができるプログラムを作成した。

※ 認知症カフェモデレーター研修とは

認知症カフェの持つ機能を大切にし、認知症の人と家族を第一にした参加しやすい合理的な配慮を具体的に考え、実践できる人材を育成することを目的として開催されているもの。







認知症カフェコーディネーター
福岡県

取組内容

✓ 令和８年１月に認知症カフェコーディネーター研修会を開催し、以下の３部構成で実施した。

①「認知症カフェとは」･･･認知症カフェモデレーター 城田 浩太郎氏
認知症カフェのルーツや制度上の位置付け、「新しい認知症観」の考え方など、認知症カフェの理念や意義について学ぶ内容とした。

②「認知症カフェでのコミュニケーション」･･･認知症カフェモデレーター 古川 信之氏
認知症当事者との関わり方や安心して過ごせる居場所づくりなど、認知症当事者とのコミュニケーションについて学ぶ内容とした。

③「認知症カフェの運営方法」･･･認知症カフェモデレーター 野村 武文氏
県内で実践されている認知症カフェの運営事例を紹介し、運営上の工夫や課題への対応等について共有した。

✓ 講義に加えてグループディスカッションや名刺交換の時間を設け、参加者同士が運営上の悩みや地域課題について意見交換を行った。地域を超えたネットワークづくりや、受講後の実践につながる学びの機会となるよう工夫した。

《実施体制》

主催：福岡県（委託事業者：特定非営利活動法人たすけ愛京築）
参加者：地域包括支援センター職員、認知症地域支援推進員、認知症カフェ運営者等
参加人数：29名

取組のポイント

□ 認知症カフェモデレーターが企画・講師を担当

- 認知症カフェの理念や運営のポイント等を共有し、研修受講後の実践につながるよう工夫した。

□ 参加者同士の関係づくりを重視

- 名刺交換の時間を設け、情報交換や相互見学の相談など、参加者の関係づくりに資するよう工夫した。

成果

定量面

▶ 研修後のアンケートでは、「研修内容は理解しやすかった」及び「講師の説明は分かりやすかった」と回答した参加者がともに100%

▶ 「今後の認知症カフェ運営に活かせそうだと感じた」は96.6%、「他の人にも勧めたい」は96.6%
→研修内容に対する満足度や実践への活用意欲の高さがうかがえた。

定性面

▶ 認知症当事者と実際に関わった経験が少ない人もいることから、認知症当事者とのコミュニケーション方法や安心して過ごせる環境づくりについて学べる機会となった。

▶ 参加者同士の横のつながりが生まれ、情報交換や相互見学の相談につながるなど、新たなネットワークが形成された。

▶ 「講師の方たちの内容が分かりやすく、活用しやすい内容だった」「地域で実践したい」といった声が多く寄せられた。

今後の展望

- 今後も認知症カフェの運営に関する研修会を実施し、市町村等の認知症カフェ運営者を支援していく。